

# 森林総合産業特区の主な取組実績 (H23~H27)

## 循環型森林経営の推進

H23~: 町有林・私有林の循環型森林経営を推進

## 下川地域森林整備推進協定(共同施業団地)

H23~: 国有林との共同施業団地拡大 (H26: 計18,551ha)

## 森林資源解析システムの開発

H23~24: 開発 航空レーザー測量とデータ解析により  
林分の材積や成長量予測を森林GIS  
H25~: 運用 上で活用



## 林内路網の高密度化

H23~: 路網拡大

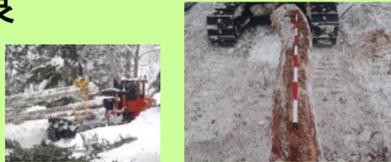
## 森林作業員の能力向上

H24: 作業員欧州研修、H25~: 技術者・講師招聘

## 先進的林業機械の導入改良

H25~: 導入、運用

ハーベスタ: 採材と選別の機能向上  
フォワーダ: 単幹集材対応



## 先進機械を活用した伐採・造林一貫システムによる 低コスト人工管理技術の開発

H25~27: 森林総研との共同研究

## 林業・林産業人材確保支援事業

H27(試行): 旭川農業高校森林科学コースの学生(1年生)を  
対象に現地見学会・講演会の開催、  
下川商業高校の学生(2年生)を対象に現地  
見学会・講演会の開催(森林環境教育)

## エネルギー作物栽培の事業化

H23~: 早生樹ヤナギ生育調査

H26~: ジャイアントミスカンサス(ススキ)生育調査

## 林業・林産業・森林バイオマス産業の一体化



## 造林苗木生産システム革新

H24~: コンテナ苗栽培実証・定植

植栽時期を選ばない、活着が良い、植栽作業時間の短縮  
が図れるコンテナ苗(カラムツ、トドマツ)の栽培実証と定植



## 情報通信技術の活用



## 加工・流通システムの 高効率化



## 木材需要の 拡大・高付加価値化



## 林産システム革新

H25~: 林業・林産業の情報共有会議

H26~: 木質原料製造施設拡大

(H26: 供給量3,007t(前年度比+64.8%))、  
林業・林産業研究会、製材品等運搬支援、  
新木材産業創出支援、FSC認証面積拡大

## 森林文化創造

H24~: チェーンソーアート大会、新たな森林体験フィー  
ルド(美桑が丘)整備

H24~25: 木のデザイン公募

H25~26: 小・中学校内装木質化

H26~: 森ジャム

チェーンソーアート、バイオマス発電によるライブ、森のマーケットなど、  
森林に親しむたくさんの企画が混ざったイベント  
※ジャムセッション・・・混ざるの意



## 産業 (森林総合産業)

## 質の良い生活

## 資源 (エネルギー の完全自給)

## 社会 (誰もが活躍 ・安心)

## 山村活性化支援交付金事業

H27~29: 広葉樹材等の利用発掘事業

バイオマス熱電併給原料供給体制構築調査  
木灰の地域内循環利用事業

## 誘致企業と連携した新木材活用可能性調査事業

H27~: トドマツ無垢材を中心とする木材低温乾燥技術の開発・  
加工、市場調査、普及啓発

## 小規模分散型再生可能エネルギー供給システム整備

H23~: 住宅への太陽光・バイオマス導入助成

H24~25: 一の橋地区地域熱供給システム導入、バイオマス熱電併給に向けた調査

H25: 民間製材工場木質ボイラー導入、木質ペレット製造実証

H25~26: 小学校・病院地域熱供給、中学校熱供給導入

H26: バイオマス熱電併給に向けた詳細調査(マスタープラン策定)

H26~27: 家畜ふん尿によるバイオガス発電(参考)

H27: バイオマス熱電併給の事業体構築調査、海外技術調査

